

臨床試験・統計手法関係

約4,650名の受講実績を持つ、臨床統計の中核コース

第58回 臨床試験セミナー統計手法コース

Webをチェック

オンライン
配信
セミナー

参加のおすすめ

臨床試験セミナー 統計手法コース(CT)は、臨床試験のデータ解析に必要な統計学の基礎知識を習得することを目的とした短期セミナー(計7日間)です。1972年(昭和47年)から開始され、2026年度で58回目を迎えます。これまでの受講者数は約4,650名で、製薬関連企業の統計担当者、大学・病院の研究者や医療従事者、規制当局の審査員等の方々に受講していました。

本コースは、短期間で、臨床試験方法論や生物統計学の基礎的知識を習得したいと考えている方に適しています。本コースの前半では数理統計学と臨床試験方法論の基礎を学び、後半では臨床試験において頻用される統計手法である一般化線形モデル、生存時間解析、経時測定データ解析等を学んでいただきます。これから臨床試験に従事する方や体系的に臨床試験方法論や生物統計学を学びたいと考えている方々に受講をお勧めいたします。

なお、本コースの参加前に「e-ラーニング」はじめて学ぶ臨床試験のための生物統計学入門」や「臨床試験セミナー 統計手法入門コース」を受講していただくと、本コースの講義の理解が深まります。併せてご参加をご検討いただけますと幸いです。

CTセミナー運営委員長／東京科学大学 医歯学総合研究科 臨床統計学分野 教授 平川 晃弘

コースの特色

- 講師陣が厳選した講義をとおして、臨床試験方法論と統計解析の基礎が習得できます。
- 講師陣は、現在、生物統計学や臨床試験方法論の教育・研究に従事している大学教授等です。
- 質疑応答の時間を設け、受講生の疑問に丁寧に回答します。
- 上位レベルコースの「臨床試験セミナー統計手法専門コース(略称BioS)」の事前学習に最も効果的なコースです。



宿題グループワーク

セミナー開催期間を通して、臨床試験デザインに関するケース課題にグループワークで取り組んでもらいます。レポートを作成し、グループごとに考えをひとつにまとめて、最終日に全グループから発表していただきます。

参加対象

- 臨床試験の統計解析・臨床開発・データマネジメントの担当者
- 薬事・監査・非臨床試験製販後調査・安全性・学術・医薬情報などに携わっている製薬企業やCRO、規制当局の担当者
- χ^2 検定やt検定を行ったことはあるが、その意味がよくわからないというような一般製造企業のQC担当者
- 臨床医学・薬学・健康科学・看護学の研究者で統計学の基礎を学びたい方々
- 大学病院やナショナルセンター等でARO業務に従事する医師・薬剤師・保健師・看護師等の方々

カリキュラム

日	講義内容
前期	10/5(月) 臨床試験方法論①、統計学の基礎 SAS
	10/6(火) 臨床試験方法論②、確率・統計演習 SAS
	10/7(水) 臨床試験方法論③、相関と回帰、宿題グループワーク①

日	講義内容
中期	11/4(水) 最尤法による統計的推測、分散分析入門、宿題グループワーク②
	11/5(木) 生存時間解析 SAS 、一般化線形モデルの基礎
後期	12/7(月) 経時測定データ解析、計数データの扱い SAS
	12/8(火) 宿題発表、解説、質疑応答・まとめ

*印のある講義では、**SAS**を使った簡単なPC演習があります。SASが搭載されていない端末をご使用の方は、講師のデモンストレーションをご覗ください。2025.11.30

指導講師(◎は運営委員長)(順不動・敬称略)

- 上村 鋼平 東京大学大学院 情報学環 准教授
篠崎 智大 東京大学大学院 情報学環 准教授
田栗 正隆 東京医科大学 医療データサイエンス分野 主任教授
竹内 文乃 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 疫学・生物統計学研究室 准教授
◎平川 晃弘 東京科学大学 医歯学総合研究科 臨床統計学分野 教授
森田 智視 京都大学 医学研究科 医学統計生物情報学 教授

開催日程

前期：10月5～7日／中期：11月4～5日／後期：12月7～8日

参加費(税込)

一般 207,900円
賛助会員 192,500円